

交通バリアフリー教室 in 水戸市立稲荷第一小学校

茨城運輸支局では、令和4年10月14日（金）に水戸市立稲荷第一小学校の4年生35名を対象に「交通バリアフリー教室」を開催しました。当日は、茨城交通株式会社のノンステップバスを使用して、車いすや高齢者疑似体験セットを使った乗降・介助体験を実施しました。体験を通じて、車いすを使用している方や高齢者の方の大変さと手助けする大切さを学びました。

【開催概要】

- 日 時：令和4年10月14日（金） 10:30 ～ 12:00
- 場 所：水戸市立稲荷第一小学校
- 参加者：4年生 35名
- 主 催：茨城運輸支局、水戸市
- 協 力：(公社)茨城県地方自治研究センター 研究員 有賀絵理氏〔講師〕、
(一社)茨城県バス協会、茨城交通(株)

【プログラム】

- オリエンテーション
- 車いす体験／介助体験
- 高齢者疑似体験／介助体験
- グループ発表
(体験してわかったこと、難しかったこと、良かったこと)
- まとめ



参加者の感想

- ・車いす体験をして、こわい気持ちもあったけど車いすの人の気持ちが分かりました。
- ・車いすの人たちの手助けをするために、やさしい気持ちが必要だと思いました。
- ・介助してくれている人には、とても感謝したいと思いました。
- ・もっと心のかべがなくなるようにしたいです。
- ・車いすや杖を使っている人が、どれだけ大変でいるのかよく分かった。
- ・おじちゃん、おばあちゃんに「早くして早くして」と思っていたけれど、遅くても大丈夫と気持ちが変わりました。
- ・運転手さんやお客さんも協力して手伝いをすることが分かりました。
- ・今度、困っている人がいたら助けたいと思いました。



車いす体験



高齢者疑似体験



グループ発表